

令和8年9月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和8年9月1日（火）午前11時00分～11時30分

場所 市役所2階 第3委員会室

出席 市政記者クラブ 9社 9名

会見内容

1. 話題提供

1 「KUSHIRO BRANDING PROJECT（くしろブランディングプロジェクト）」 ロゴ・キャッチコピー決定について

- 最初に「KUSHIRO BRANDING PROJECT（くしろブランディングプロジェクト）」ロゴ・キャッチコピーの決定についてです。
- 前回の定例記者懇談会でお話しさせていただきましたとおり、釧路市のロゴ・キャッチコピーを決定するための投票を、8月5日から16日までの12日間、実施いたしました。
- 投票期間は、お祭りやお盆と重なり、市民の皆さまをはじめ、帰省された方や観光で釧路を訪れた方にも、多くのご投票をいただきました。投票総数は、22,598票となりました。このプロジェクトに対する市民の皆さまの関心、そして今後への大きな期待を感じたところです。ご投票いただいた皆さまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。
- 集計の結果、3案のうち、ご覧のロゴとキャッチコピーが、最も多くの票を集めましたことから、これを釧路市のロゴとキャッチコピーに決定することといたしました。
- 今後は、このロゴとキャッチコピーを、市民の皆さまをはじめ、市内の企業や団体の皆さまにも広く活用していただけるよう、必要な準備を進めてまいります。

2 韓国からのチャーター便の誘致について

- 続きまして『韓国からのチャーター便の誘致について』お知らせします。
- はじめに先般実施された「大韓航空による国際チャーター便の就航」の結果についてです。
- 本年7月に、令和元年（2019年）7月以来、約7年ぶりとなる大韓航空のチャーター便が就航いたしました。
- 運航期間である7月15日から8月1日までの間、一便も欠航することなく全6往復10便が予定通り運航され、計857名のお客様を無事にお迎えすることができました。
- 全期間を通じた座席利用率は99.6%とほぼ満席となり、極めて高い成果を収めることができたところです。
- 今回のチャーター便就航に伴い、大韓航空、各旅行会社、北海道エアポート、地元経済界、宿泊事業者ほか、関係者の皆様のご尽力に改めて深く感謝申し上げます。
- また、この度のチャーター便就航の実績を踏まえ、先週8月26日から29日までの

日程で、関係者とともに大韓航空本社及び各旅行会社を訪問し、継続的なチャーター便の就航やツアー造成に向けた要請行動を行いました。

- 北海道を訪れる韓国からの観光客は、夏と冬に需要のピークを示しておりますが、本市といたしましては、こうした動向を的確に捉え、夏以外の季節への誘客拡大を図るとともに、通年を見据えたチャーター便や定期便の運航を各社へ要請してきました。
- 今後とも、「ひがし北海道」地域の協力関係を益々強固なものとしつつ、国際チャーター便の就航など外国人観光客の誘致促進に向けて、しっかりと取り組んでまいります。

3 フジドリームエアラインズによるチャーター便の運航について

- 続いて、フジドリームエアラインズによるチャーター便の運航についてです。
- 9月7日から10月12日の期間で計18便が運航予定となっております。このうち、道外から釧路空港へ来る便は6往復12便あり、1便あたり84席の機材を使用することから、最大で約500人のお客様が釧路を訪れる予定です。
- 今年は徳島、富山、広島、高知などから来訪を予定しております。
- また、本チャーター便は、旅行会社による企画型ツアー商品を通じて、運航いたします。
- ツアーの具体的な内容としては、全て2泊3日の日程で、釧路を起点に、阿寒湖・摩周湖・知床・網走など、ひがし北海道を広く周遊する行程となっております。
- 9月7日の初便到着に合わせて、釧路空港にて歓迎の行事を行うほか、搭乗されたお客様に、1階ロビーで観光パンフレットや記念品を配布いたします。
- 今後とも、釧路の「夏の涼しさ」などを来年以降もしっかりとPRしていくとともに、釧路ならではの観光・自然体験・食の魅力などを発信し、継続したチャーター便の就航に繋げていければと考えております。

4 第23回釧路大漁どんぱくの開催について

- つづきまして、第23回釧路大漁どんぱくの開催についてお知らせいたします。
- 釧路大漁どんぱくが、いよいよ来週末、9月12日（土曜日）、13日（日曜日）の2日間、幸町緑地、及び、KKSコンベンションセンター前庭特設会場ほかにて開催されます。
- 本年も、様々な屋台グルメが楽しめるほか、釧路市の姉妹都市・友好都市等5市町から魅力あふれる特産品が一堂に集まり、普段味わうことのできない地域の逸品が楽しめるなど、「どんぱく」の「ぱく」を体現する内容となっております。

- また、どんぱくの「どん」を体現するメインイベント釧路大漁どんぱく花火大会は12日（土曜日）午後7時から50分間を予定しており、午後7時30分頃には、北海道最大で唯一の三尺玉が打ち上げられ、夜空を華やかに彩ります。
- このほかにも、釧路の農業に触れて食べて遊べるイベント「農業農村フェア in KUSHIRO」や、13日（日曜日）には初開催となる「釧路モーターフェスティバル」、ステージイベントである「アンパンマンショー」など、さまざまな企画が盛りだくさんとなっております。
- ご家族、ご友人の皆様をお誘いあわせのうえ、是非、ご来場ください。

2. 質疑要旨

（質問）

- ・ くしろブランディングプロジェクトロゴ・キャッチコピーの決定について、市長の感想をお聞かせください。
（市長）
- ・ ロゴを見たときに少し抽象的とも思いましたが、釧路のシンボルタ日が決め手になったと思っています。市民の皆さんにも圧倒的に、このロゴを選んでいただきました。キャッチコピーも「わたしに還る、くしろスタイル」であり釧路の街の雰囲気を表わしているキャッチコピーになっていると感じております。

（質問）

- ・ ロゴ・キャッチコピーの活用について伺います。
（市長）
- ・ 市民、市内企業、団体、市役所が共通のシンボルとして活用し、釧路市らしさを一貫して伝えていくためにロゴ・キャッチコピーを作成しました。まずは、市民の皆さんに知っていただき、幅広く使用していただきたいと考えています。
- ・ これから定めるガイドラインに基づき商品、サービス、名刺など様々な面で活用できるよう、提供させていただきます。使用開始は、2027年3月頃を予定しています。現在策定している釧路市ブランディング戦略のもと、ロゴ・キャッチコピーによる統一したブランドイメージを共通の基盤とし、ホームページ、動画、ポスター、パンフレットなどの刊行物、SNS を組み合わせながら釧路市の魅力を一貫して発信していく予定となっております。

（質問）

- ・ ロゴ・キャッチコピーについて、投票数が22,598票ということですが、投票方法、市内外の投票者数の内訳を教えてください。
（マーケティング戦略室）
- ・ オンライン投票は1,695票、投票ボードへのシール貼付による投票は20,903票となっております。投票ボードでの投票が圧倒的に多く、港まつり会場及びジョイフルタウンの投票イベントでは、約5,000の投票があり、最も多い投票となりました。
- ・ オンライン投票については居住地、移住者かどうかを伺っており、投票数1,695票の内、市外からの投票が166票、移住して5年目の方からの投票は190票でした。どちらの投票もB案が最も多く、割合的にも全体の投票結果と同じような構図で票が入ってい

ました。

(質問)

- ・ 市外の方からもB案が支持された結果について、市長の受け止めをお聞かせください。
(市長)
- ・ なぜこのような結果になったのかは解りませんが、市内外の方が釧路市に対する共通イメージを、B案のロゴに一番共感を得たのではないかと考えております。

(質問)

- ・ 韓国のチャーター便について、チャーター便に限らずツアーの造成や定期便の就航も要請されたということですが、大韓航空や各旅行会社の反応をお聞かせください。
(市長)
- ・ 大韓航空や各旅行会社には、非常に良い手ごたえをいただいたところです。座席利用率が高いだけでなく、富裕層の方が来たのでツアー代などが高かったことに加え、満足度も高かったとのこと。来年以降は、更に長い期間チャーター便を運航したいと、おっしゃっていました。決め手となったのは、釧路の自然と涼しさです。非常に高い評価を得ました。

(質問)

- ・ 来年度以降もっと長い期間運航するというのは、夏期間でしょうか。また、大韓航空さんが言っていたのでしょうか。
(市長)
- ・ 大韓航空さんもおっしゃっていました。旅行会社は冬もツアーを組みたいとおっしゃっていましたが、大韓航空さんがチャーター機を飛ばさなければツアーはできません。大韓航空さんからすると、日本国内では最も遠いくらいの距離にあります。燃料の中東リスクもあることから、今後検討していきたいとおっしゃってありました。

(質問)

- ・ 市長としては、先方が前向きに考えているとの受け止めでしょうか。
(市長)
- ・ 来年は確実と思っています。韓国も夏は普通に30℃を超えるような暑さであり、涼しい場所を探していて、釧路ということになりました。釧路は涼しさが一番だと思います。

(質問)

- ・ 定期便については、前向きなお話があったのでしょうか。また、韓国からの誘客は、釧路市の観光誘致や外国人の招き入れについて、力を入れていく施策になっていくのでしょうか。
(市長)
- ・ 定期便については相手があることなので、詳しく言えません。協議が整ってからお伝えしたいと思っています。
- ・ 韓国への誘客については、今後もチャーター便を含め、しっかりおこなっていきたいと思います。

(質問)

- ・ ロゴ・キャッチコピーについて、市長ご自身はどの案に投票されたのでしょうか。
- (市長)
- ・ B案です。

(質問)

- ・ どのようなところが良くて投票されたのでしょうか。
- (市長)
- ・ 代表的な3色が釧路市のイメージに近いと思ったことと、「わたしに還る、くしろスタイル」のキャッチコピーも良かったです。

(質問)

- ・ ブランド発信のために活用していくと思いますが、どのような活用方法、どのように釧路をアピールしていきたいと考えているかお伺いします。
- (市長)
- ・ マーケティング戦略室で動画を作成し、12月から順次プロモーションをかけていく予定です。3月には全てのプロモーションツールが揃うので、ホームページ、動画、SNS、ポスターなどを通じてブランドイメージをどんどん発信し、定着させ釧路の未来のためになるよう使っていきたいと思っています。

(質問)

- ・ 日本製紙釧路工場閉場から今月末で5年となるが、現在の状況と関心を持たれた視察にこられる企業があるのかお聞きします。
- (市長)
- ・ 日本製紙釧路工場の跡地利活用については、様々引き合いがあり、釧路市に連絡・視察希望を頂いたものについては、その都度、日本製紙様に報告しているところです。市といたしましては、跡地の地活用や経済の活性化の観点からも、引き続き地権者である日本製紙様と一緒に誘致活動を進めて参りたいと考えております。

(質問)

- ・ どのような種類の企業が視察に訪れているか教えてください。
- (市長)
- ・ 釧路に優位性のある分野の業種が多いと思いますが、日本製紙様がメインとなる案件ですので、回答は差し控えさせていただきます。

(質問)

- ・ 新たな取り組み、検討していることがあれば教えてください。
- (市長)
- ・ 市で考えるというよりも、日本製紙様が取捨選択するので、日本製紙様のお考えと考えております。

(質問)

- ・ 日本製紙跡地以外の取組みも教えてください。

(市長)

- ・ AI 分野が拡大しデータセンターが非常に不足しているとお聞きしています。都市圏には作る余地も無くなってきています。暑い地域では、冷却の費用がかかるといわれていますので、釧路市の涼しさを PR し誘致に向けて努力していきたいと考えております。釧路の弱点として送電網というところがあると思っております。

(質問)

- ・ 様々な引き合いがあり、具体的なことは言えないのは理解しますが、概ね何件程度の問い合わせがあったのか教えてください。

(産業推進室)

- ・ 現在件数までは持ち合わせていませんが、年に数件程度引き合いがあり、その都度ご紹介している状況です。

(質問)

- ・ 日本製紙の跡地については、日本製紙が考えることのお話ですが、令和8年6月市議会で、工業団地のようなものを造る調査結果を発表されていきました。その中で日本製紙の跡地が埋まらない限りは、他の場所に造るのは難しいとの話だったと記憶しています。市長がおっしゃった、日本製紙が考えることなので、市があまり積極的にはおこなわないというスタンスは、AI データセンター誘致など言っていることと合っていないと思います。

(市長)

- ・ 日本製紙さんが考えることとは言っておりません。一緒に誘致を進め考えています。ただし、最終的な取捨選択は日本製紙さんに決定権がある。

(産業推進室)

- ・ 決して日本製紙に任せているのでは無く、その都度協議しながら一緒に取り組んでおります。今後もその取り組みを続けていきたいと思っております。

(質問)

- ・ 話が来てスタートするのでしょうか。市が協議をするのは理解しますが、市から積極的に働きかけて日本製紙跡地に誘致をすることはおこなっているのでしょうか。

(産業推進室)

- ・ 基本的に企業からの引き合いがあった時に紹介をしています。日本製紙跡地を活用する案件が釧路市の取組みの中で見つかりましたら、日本製紙に問い合わせしていきたいと考えています。

(質問)

- ・ 先ほど市長が言われた、AI データセンターなど誘致に関しては、日本製紙跡地を埋めなければならないと思いますが、引き合いを待っている状況では無く、どんどん誘致活動をおこなうべきではないのでしょうか。

(産業推進室)

- ・ AI データセンターの情報収集をおこなっており、日本製紙跡地が使えるのであれば紹介していきたいと思っています。

(質問)

- ・ 日本製紙跡地に AI データセンターを誘致するのでしょうか。
(産業推進室)
- ・ 立地条件等がありますので、日本製紙跡地が適しているかはわかりませんが、工業用地の方がデータセンターとの相性が良いので、活用できないかを含め検討をしているところです。
(市長)
- ・ 常にそのような話をしております。市がやっていないとは言っておりません。これからもしっかりやっていきます。

(質問)

- ・ 8月26日に、JR 北海道釧路支社が釧路湿原ノロッコ号の運行を、正式に終了するとお話がありました。これに代わり来シーズンは、ノロッコ号の看板は付けずに臨時列車を運行することも話されました。このことについて、市長の受け止めを教えてください。
(市長)
- ・ ノロッコ号は1989年から37年間、釧網線の湿原中心に運行をしてくれました。このことについて、JR 北海道並びにノロッコ号に深く感謝いたします。地域としては、観光資源としてファンも多かったことから、観光客や市民にも残念なことだと思っております。運行終了発表以降、沿線自治体の首長と JR 北海道に対し通年での観光列車運行の確保、新たな釧路湿原ノロッコ号への車両更新、既存車両改修による運航継続など要望をおこなってきました。要望した結果、来年4月から7月の期間で、豪華観光列車赤い星が運行開始することとなりました。また、定期列車の一部で観光運行の取組みを実施します。多客期における臨時列車の運行など、前向きな回答もいただけたと考えております。これからも沿線自治体とともに、釧網線の特性を発揮できるよう、最大限の取組みを進めていきたいと考えております。

(質問)

- ・ 沿線自治体の首長と様々な要望をおこない、その内の一つである、赤い星だけでは無く臨時列車運行が叶ったということですが、これに対しての評価、受け止めをお聞かせください。
(市長)
- ・ ノロッコ号については、価格帯的にも乗り易く観光に対する波及効果も非常に大きかったと思っています。車両自体の雰囲気もありました。路線として赤字であり、車両も寿命で代替車両も用意できなかったのは非常に残念ですが、JR 北海道さんが臨時列車や赤い星を用意していただき、代替措置として非常に感謝しております。

(質問)

- ・ JR 北海道が一定程度の措置をおこないましたが、路線自体は赤字が続いています。釧網線を維持するうえで、これから JR 側に要望していきたいことや、課題についてお聞かせください。
(市長)
- ・ JR 北海道や国にしっかりと要望していきます。

(質問)

- ・ 要望というのは、路線の維持への要望でしょうか。

(市長)

- ・ 国の責任において、路線を維持していただくことをお願いして参ります。